

たまき雄一郎



国民民主
KOKUMIN MINSHU PRESS

香川県第2区総支部
号外版
令和6年1月15日号

連絡先:
国民民主党香川県第2区総支部
〒769-2321
香川県さぬき市寒川町石田東甲814-1
TEL: 0879-43-0280
FAX: 0879-43-0281

国民 **こく** **みん**
民主 **みん**

発行: 国民民主党 国民民主PRESS 編集部
100-0014 東京都千代田区赤羽2-17-17 JB5赤羽町
TEL: 03-3593-6229 / HP: new-kokumin.jp
定価: 100円(税別) / 送料別
定購料: 1,000円(送料別)
毎月4日発行(休載月あり)

1月1日に発生した能登半島地震で亡くなられた方にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。国民民主党としても復旧・復興に全力を傾けてまいります。

さて、旧年中は大変お世話になりました。特に、昨春の統一地方選挙では、全国の支援者の皆様にお世話になりました。地元の香川県や東京都において、地方議員の数を倍以上に増やすことができましたのも皆様のご支援、ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

一方で、去年はジャニーズの問題や自民党の派閥の裏金問題などが発覚し、長年隠されていたものが暴かれた年だったとも言えます。今年は辰年ですが、辰年は「陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」といわれています。過去を振り返ると、戊辰戦争(1868年)、日露戦争(1904年)が辰年に起きています。

そして、政界も動く年です。ロッキード事件やリクルート事件といった汚職事件も辰年に発覚しています。また、戦後5回しかない辰年のうちで3回も総選挙が行われました。民主党政権が下野して安倍政権ができたのも12年前の辰年2012年でした。今年、総選挙が行われる可能性は高いと考えます。「正直な政治」をつらぬき、「給料が上がる経済」を実現し、安心と希望を持てる日本経済・社会を復活させるためにも、国民民主党が党勢を拡大できる年にしていきます。

東海道新幹線開業(1964年)や瀬戸大橋開業(1988年)など、新たな国家プロジェクトが始まること多いのも辰年の特徴です。政治も経済も動く年になると思います。その変化を良き方向に導いていく役割を果たしたいと考えております。どうか、玉木雄一郎、国民民主党に対して、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の今年一年のご多幸と繁栄をお祈り申し上げます。

地元での 玉木雄一郎



NHK 朝ドラ「ブギウギ」のまち引田



2023.9.10 ひょうげまつり(高松市香川町)



2023.10.15 津田ふれあいまつり



2023.11.19 綾坂地域農業フェスティバルにてポン菓子づくり



2023.10.15 坂出八幡宮秋祭



2023.11.5 宇多津太鼓台祭り



2023.11.19 国政報告会(丸亀市綾歌町)

2023年は国民民主党香川県連の仲間が17名に増えました! これからも地域の声をしっかりと聞いて、地域に根ざした活動を続けていきます。

香川県連HPにてメンバー紹介▼



玉木雄一郎(たまき ゆういちろう) プロフィール

昭和44年、香川県さぬき市生まれ。高松高校、東京大学法学部、米国ハーバード大学院卒業。財務省主計局主査などを歴任。平成21年衆院選で初当選、当選5回。令和2年12月、新「国民民主党」代表に就任。令和5年9月代表再選。

国民民主党代表
衆議院議員
玉木雄一郎

Xで随時活動を更新中!

たまき雄一郎 検索

ホームページ & メール
HP <https://www.tamakinet.jp/>
pr@tamakinet.jp

事務所 連絡先

寒川事務所
〒769-2321 香川県さぬき市寒川町石田東甲814-1
TEL: 0879-43-0280 FAX: 0879-43-0281

LINEで最新情報が届きます!
「友だち」登録をお願いいたします。

LINE

坂出事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第1議員会館706号室
TEL: 03-3508-7213 FAX: 03-3508-3213

YouTube

東京大学駒場祭2023
母校の講演会で
想いを語る!

たまき ちゃんねる登録
お願いします!

チャンネル登録
お願いします!



対談

玉木雄一郎

国民民主党代表
衆議院議員



榛葉賀津也

国民民主党幹事長
参議院議員

玉木 新たな年が始まりました。

榛葉 昨年一年を振り返るといろいろなことがありましたね。

玉木 我々が一年間を通して「給料を上げる。自分の国は自分で守る。」という政策を貫いたことは良かったと思っています。一定の成果を出してきていると思うので、今年はさらにパワーアップしていきたいと思っています。自民党の派閥の裏金問題によって政治に対する不信感が非常に高まっている今、「政治はダメかな」と思っている人の受け皿として国民民主党がさらに飛躍する責任があると思います。

ガソリン減税に全力

榛葉 昨年の暮れにガソリン減税、トリガー条項凍結解除にむけて、三党合意(国民民主・自民・公明)で実務者協議がスタートしました。今年は交渉を結実させてガソリン代値下げを実現させたいと思います。永田町に激震が走った「自民党パーティー券問題」もこの問題と無関係ではありません。補助金に依存する業界と政界の癒着が根底にあるからです。



います。このままだと日本からノーベル賞受賞者が出なくなりそうです。我々は教育国債を発行してでも、子育て・教育・科学技術についての予算を倍にしようと考えています。具体的な話では、民間の教育にかかったコストは医療費の控除と同じように税金から差し引くといった制度を提案しています。また地方から上京し、大学に行つて親が仕送りをする場合には、「仕送り控除」として税金から差し引く。これは都会と地方の格差を埋めることにもつながります。

榛葉 大学の授業料もこの30年で倍近くなつていて、いま一人に一人の学生が奨学金という名の借金をして学んでいます。

玉木 我々は返さなくていい「給付型奨学金」の条件の緩和と、すでに大学を卒業した方への最大150万円まで奨学金の免除を提案しています。また「若者減税」という視点に立つて、所得税と住民税を免除・減税できる制度も提案しています。

次の世代を担う若い人を応援しないと、結局高齢者の方々を支えることもできなくなります。覚悟を決めて現役世代・若者世代を応援していきたいと考えています。

榛葉 昨年の暮れにちょっと残念な出来事がありました。しかし本当に全国の多くの方々から激励をいただきました。これまで国民民主党の支持者でなかった方からも「玉木と榛葉の党を応援するぞ」と激励をいただきました。

玉木 そうですね。補助金はガソリン価格を引き下げる効果があったことは事実ですが、弊害が出てきている。例えば、業界団体や石油売り場に補助金を出すと、その過程でお金が漏れてパーティー券の購入を通じて自民党議員に還流されると指摘されています。パーティー券の問題がある今だからこそ、補助金から減税に変えていくべきです。

榛葉 我々は「給料の上がる日本経済を取り戻す」という政策で、国民の可処分所得を上げることを訴え続けてきました。そのためには「賃上げ」。昨年は連合の芳野会長と玉木代表には本当に頑張っていたけど、「政労使会議」が開催、30年振りの賃上げが一部企業で実現しました。大切なのは賃上げの継続と中小企業や地方で働く方々の賃上げの実現だと思います。

玉木 榛葉幹事長の地元静岡も、私の地元香川でも、地方の中小零細企業にはまだ賃上げが浸透していません。地元で話を聞いていると「賃上げしたいけれども、できない」という声を聞きます。それはガソリン・電気代・資材機材が高いから。だからこそガソリンや電気代の値下げで中小企業でも賃上げができると思います。

た。「雨天の友は真の友」。我々は、正にピンチをチャンスに変えていかなければなりません。

玉木 今の混沌の政治状況だからこそ、国民民主党のような筋の通った覚悟を決めた政治集団が必要です。そのためには各地に候補者を今以上に擁立をして、その活動を通じてまた運動を広げ、そして議席を増やしていきたいと思っています。

「正直な塊」の中核を担う

榛葉 よく野党の一部が、政権交代のために「大きな塊」をつくると言いますが、私は「大きな塊」の前に「正直な塊」を作らなないと意味がないと思います。ただ大きくなれば良いというのは政治家の論理です。政策実現のため、この国の将来のために「正直な塊」を作りたい。その中核を担えるのは国民民主党だと思っています。

玉木 その通りですね。これからは「大きな塊」よりも「正直な塊」。そうじゃないと結局塊は壊れてしまう。「正直な塊」の核は国民民主党だと確信を持って訴えていきたいし、信じて仲間と力合わせてやっていきたいと思っています。

昨年は全国各地を回つて多くの若い人々から応援をいただきました。国民民主党の学生部は220名以上いて、我々の政策をよく勉強しています。次の世代のために我々は負けられないので「正直な塊」を本当の意味での

る環境を整えていきたいと思っています。

榛葉 2024年問題をはじめとした人手不足も問題になっています。

玉木 人手不足を解消するためにも、デジタル化・省力化のための投資をしっかりと促すことは大事だと思います。消費と投資が両方ともうまくいけば必ず日本経済は次のステージに行きます。例えば10億円投資したら10億円以上の償却を認める「ハイパー償却税制」といった経済政策を国民民主党は用意していますし、実現していきたいと思っています。

榛葉 日本経済を再興させるためのベースが「人づくりこそ国づくり」という考え方です。特に若い方々をしっかりと守り育てていくための税制改正の議論も大事です。

教育費や仕送りを税控除

玉木 日本がこれまでの発展を成し遂げたのは人を大切にして、教育を施し、科学技術を磨いてきたからです。でも今、人への投資が圧倒的に少なくなつて

大きな塊にしていくために飛躍の一年にしていきたいなと思っています。

榛葉 今年一年、今まで以上に頑張りたいと思います。

玉木 頑張りましたよ！



榛葉 賀津也(しんば かづや)
昭和42年4月25日静岡県菊川市生まれ。静岡県立掛川西高校卒業後、米国オハイオ州オタハイン大学政治学部卒業。イスラエル国立ヘブライ大学大学院国際政治学部留学。菊川町議会議員を経て、平成13年第19回参議院議員選挙に初当選。以降、3期連続当選。現在国民民主党幹事長。

玉木雄一郎 × 榛葉賀津也